

#### (4) 住宅の規模

専用住宅の「1住宅当たり居住室数」は3.24室、「1住宅当たり居住室の畳数」は24.75畳、「1住宅当たり延べ面積」は65.18㎡となっている。平成25年と比較すると、「1住宅当たり居住室数」は0.09室減少、「1住宅当たり居住室の畳数」は0.77畳増加、「1住宅当たり延べ面積」は1.64㎡増加している。

「1人当たり居住室の畳数」は12.17畳、「1室当たり人員」は0.63人となっている。平成25年と比較すると、「1人当たり居住室の畳数」は0.49畳、「1室当たり人員」は0.01人それぞれ増加している。

また、専用住宅の「1住宅当たり延べ面積」を都道府県別にみると、東京都は、全国で最も狭くなっている。(表6、図6、付表)

**表6 専用住宅の1住宅当たり居住室数・居住室の畳数・延べ面積、1人当たり居住室の畳数及び1室あたり人員**

年次	専用住宅				
	1住宅当たり居住室数	1住宅当たり居住室の畳数	1住宅当たり延べ面積	1人当たり居住室の畳数	1室あたり人員
昭和43年	2.77	14.84	43.84	4.46	1.20
48年	3.00	16.46	47.43	5.47	1.00
53年	3.25	18.48	50.66	6.46	0.88
58年	3.38	19.75	54.24	7.20	0.81
63年	3.48	21.04	56.72	7.91	0.76
平成5年	3.45	21.56	58.95	8.61	0.73
10年	3.41	22.01	59.43	9.50	0.68
15年	3.45	23.15	62.54	10.42	0.64
20年	3.38	23.24	62.51	10.87	0.63
25年	3.33	23.98	63.54	11.68	0.62
30年	3.24	24.75	65.18	12.17	0.63
平成25年～30年増減数	△ 0.09	0.77	1.64	0.49	0.01

注) 「専用住宅」とは、居住専用に建築された住宅を示す。

**図6 都道府県別専用住宅の1住宅当たり延べ面積（上位及び下位5都道府県）**

